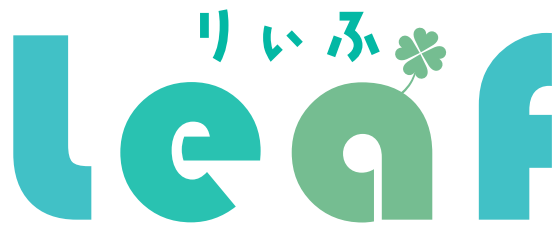


常磐病院  
地域連携だより



<https://www.tokiwa.or.jp/leaf/>

April 2026

TAKE FREE



伊藤 敏孝 医師

的確な初期対応を心掛け、  
院内外を連携し、地域住民の方々が  
安心できる医療の提供に努めます。

救急車を断らないことを目標に  
地域医療に貢献していきます。

堀田 康文 医師

中谷 宣章 医師

少しでも皆様のお役に立てるよう、に頑張ります。

# ER PHYSICIANS

「断らない救急」から、さらなる専門体制の構築へ

地域の先生方におかれましては、日頃より当院の診療にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。とさわ会常磐病院の新村浩明でございます。2025年より救急委員会の委員長を務めます。

当院では、2025年来、地域医療への貢献をさらに強化すべく、救急外来の受け入れ体制を見直し、「可能な限り断らない救急対応」を基本方針として運用を進めてきました。

先生方もお気づきのこととは存じますが、現在の医療や介護には、地域全体で患者さんを支えていくことが求められています。そのような外部環境の変化に対応していくために、地域の中でどのような役割を担うべきかを再検討した結果、救急医療の受け入れ強化が重要であると判断した次第です。

このような取り組みを通じ、2025年には年間20000台の救急車受け入れを達成し、応需率も90%前後で安定して推移するようになりました。



公益財団法人ときわ会  
常磐病院

院長 新村 浩明

- 日本泌尿器科学会 専門医、指導医
- 日本透析医学会 専門医、指導医
- 日本臨床腎移植学会 認定医
- 日本核医学会 PET核医学認定医
- 日本がん治療認定医機構  
がん治療認定医
- 日本泌尿器内視鏡学会  
泌尿器腹腔鏡技術認定医
- 日本内視鏡外科学会 技術認定医

「あいさし」

これにより、地域の先生方からのご紹介や救急搬送に対して、より安定した受け入れが可能となっております。

当院は180床の急性期病床を有し、主に内科系疾患や比較的全身管理が中心となる症例については積極的に対応しております。一方で、整形外科、脳神経外科、循環器内科などの専門的治療が必要な症例については、いわき市医療センターや福島労災病院と密に連携し、迅速な紹介・転院が可能な体制を整えております。必要に応じて専門医からの助言を得ながら診療を行うことで、診療の質の担保にも努めております。

また、救急搬送患者の約40%が入院に至っており、救急外来から入院、さらに退院後の在宅医療や地域医療へとつながる一連の流れを意識した診療を行っております。こうした取り組みを通じて、地域の医療資源を有効に活用しながら、患者さんにとってより適切な医療提供を目指しております。(裏面へ続く)

ときわ会常磐病院では、地域の医療施設・介護施設との連携を強化するため、当院の最新の医療情報を定期的にお知らせしております。

地域の先生方におかれましては、

- 急性期評価や一時的な入院加療が必要な症例
- 搬送先の選定に迷われる救急症例
- 専門医療機関への橋渡しが必要な症例

などにつきまして、ぜひ当院へのご相談・ご紹介をご検討いただけますと幸いです。

今後も、地域の医療機関の先生方との連携をより一層深めながら、患者さん中心の医療体制の構築に努めてまいります。何かお気づきの点やご要望等ございましたら、ぜひお気軽にご教示いただければ幸いです。

引き続きどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

救急センター設立に関するご案内

当院では2026年度より、救急医療体制をさらに強化するため、新たに「救急センター」を立ち上げることといたしました。

これまで進めてまいりました救急受け入れ強化の取り組みを基盤に、初期対応体制のさらなる充実を図るとともに、救急医療を病院全体の中でより明確に位置づけ、院内各診療科との連携を一層強化してまいります。

本センターでは、常勤医師

および非常勤医師が協力しながら救急診療にあたり、院内の各専門診療科と緊密に連携することで、迅速かつ適切な初期対応および入院加療につなげていく体制を構築していきます。また、専門的な治療が必要な場合には、これまで同様、地域の基幹病院と連携しながら、円滑な紹介・転院を行ってまいります。

さらに、地域の先生方や救急隊との連携強化も重要な柱と位置づけております。今後は、当院の救急医療の取り組みや実績をご共有する機会としての報告会や、救急対応に関する勉強会の開催などを通じて、顔の見える関係づくりを進めていきたいと考えております。

地域全体で救急医療を支える体制の一翼を担えるよう、引き続き取り組んでまいりますので、何卒ご指導ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

常磐病院 救急担当医

月	いわや あきみ 岩谷 昭美 医師
火	いとう としたか 伊藤 敏孝 医師
水	ほった やすひみ 堀田 康文 医師
木	しんむら ひろあき 新村 浩明 医師・すずき れい 鈴木 黎 医師
金	ななか のぶあき 中谷 宣章 医師

Information

TOP1+ 02

泌尿器科 専攻医と 初期研修医がラジオ出演

毎週水曜日の17時30分頃より「FMいわき(76.2MHz)」の「ラジピタリTEVENING」内で、常磐病院の新村院長が出演する「ちゃんまげ院長のFUNK LOVE」は今年から番組をリニューアルしてお送りしております。院長一押しファンクミュージックをお届けしながら、毎回テーマを設けてお話をしていく番組です。

2026年5月の放送は、4月に入職した泌尿器科専攻医の金子優仁 医師、初期研修医の河暎健 医師、服部裕太 医師、渡邊圭 医師をゲストに、4週連続で放送いたします。



過去の放送回は  
こちら

76.2MHz FMいわき



Emergency Room Nurse

TOP1+ 01

「一山一家」で挑む救急医療 患者ファーストと地域貢献の実現へ



ときわ会常磐病院 救急外来 看護師 菊地 清子

5年前に外来へ異動となり、主に救急センターでの勤務に就いております。

2023年からER2000を掲げ、院長はじめ尾崎医師、救急医の先生方、また、看護部長、病棟・外来のスタッフ、コメディカルの方々の協力もあり、2025年には救急受け入れ台数2030件に到達しました。救急センターは患者、家族へ寄り添いながら短時間で信頼関係を築くこと、また、わずかな変化を見逃さずアセスメントをすることが重要だと考えております。

「ホットラインが鳴ったら、受け入れる」をモットーに、患者ファーストでありながら、家族にも目を向け、医師・看護師が勤務しやすいように調整すること、救急センター勤務スタッフが一丸となって救急車受け入れ台数を伸ばしていくことを目標に「一山一家」、地域に貢献できるよう勤務していきたいと考えております。



公益財団法人ときわ会 常磐病院 (院長 新村浩明) 地域医療連携課

窓口受付/毎週月曜日～金曜日 8:30～17:00  
〒972-8322 福島県いわき市常磐上湯長谷町上ノ台57番地  
TEL:0246-81-5522 / FAX:0246-81-5577

ときわ会常磐病院では、診療科の増加に伴い診察可能な疾患も増えました。患者様のご紹介に関しまして、今後もお気軽にお問い合わせくださいますようよろしくお願いいたします。